

仲町小 学校だより



メールアドレスe-mail : nakacho-e@saitama-city.ed.jp

ホームページアドレス <http://nakacho-e.saitama>

自由研究にチャレンジ

校長 河野 秀樹



廊下にある5年生の学年掲示板には、「自主学习マスターへの道」と題し、子どもたちのノートの一部が紹介されています。そこには、漢字や四字熟語、百人一首、日記など国語に関連したこと、歴史上の人物、都道府県の特徴、世界の国々、戦争など社会に関連したこと、図形や面積・体積、単位など算数に関連したこと、動物や植物、地震、地球温暖化など理科に関連したことなどがあり、随時更新されています。

私は教員になった1年目に、クラスで「私の発見」という取組をしました。それを年度末に一冊にまとめたのですが、その中の「はじめに」で、次のように書いていました。

1学期から始めた「私の発見一見たこと・感じたこと・調べたこと」もみんなの発見を集めると、なんと500以上にもなりました。・・・自分の目で見、耳で聞き、手でさわり、体全体で体けんした時、きっと素晴らしい喜びを感じたことでしょうか。もしかしたら、はじめはなんとも感じなかったのに、しだいに不思議だなあと疑問に感じ、人から聞いたり本で調べたりした結果、もっと意味のあることに気づき、うれしくなったかもしれません。・・・

本校の南側を通る六間道路の「大戸」のバス停を南に十数メートル歩くと、史跡「大戸貝塚」の碑があります。このことを知った子どもたちは、どのような思いを抱くのでしょうか。「貝塚って何だろう」「どうしてここに貝塚があるのだろうか」「さいたま市には、他にも貝塚があるのかな」・・・

現地足を運び、下に示した碑の裏に掲げてある解説文を見た子どもたちの頭の中には、さらに「分かること」と「分からないこと」が生まれてきます。

この時期は、長い縄文時代を通じて、海が関東平野の内陸深くまで入り込んだ時期です。当時の与野周辺は海に向かって突出した岬のような景観でした。市内の貝塚には南から大戸貝塚、苗塚一号貝塚、円阿弥貝塚があります。貝塚は・・・

インターネットや図書館の図鑑、博物館や資料館、市役所等でさらに調べ、説明を聞いてみるのもっと詳しく分かります。このような学びが、「なぜ？」から私の発見へと繋がるのではないかと思います。

今年2月に亡くなられた、漫画家で「宇宙戦艦ヤマト」や「銀河鉄道999」などの作品で有名な松本零士氏は、著書の中で「実際にその地に足を踏み入れ空気を吸い、その土地の人々と触れあってみて初めて、感じ取れるものがあります。それは文字や写真や動画では知ることの出来ないもので、皆さんの人生にとっての財産になることでしょう。」と記しています。

7月は1学期のまとめの月になります。そして、まもなく夏休みが始まります。この貴重な休みを利用して、これまでに学んだことの復習をするだけでなく、自分の興味・関心をもとに学校で身に付けた多様な学び方を生かした粘り強い学びにチャレンジしてほしいです。特に実際に見たり、聞いたり、触ったりするなど、諸感覚を生かした自由研究に取り組んでくれることを期待しています。

参考：「夢をどうかなえるか」 松本零士 PHP 研究所